

各位

2024年9月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和6年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 106.3%、学生団体は同 93.9%、団体旅行合計では同 100.5%となった。企画旅行については前年比 106.0%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 101.9%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 88.9%、学生団体は同 108.1%、団体旅行合計では同 97.7%となった。企画旅行については前年比 235.2%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 147.4%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 73.5%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は、前年比 106.7%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションの取扱が増加し、一般団体は 106.3%と前年度を上回った。

学生団体は宿泊研修や部活動の合宿・遠征などが増加しているものの、修学旅行の取扱が減少し学生団体旅行合計で 93.9%と前年度を下回った。

国内企画旅行については、前年比 106.0%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、関東・北陸・伊勢志摩方面が好調だったものの、北海道・関西方面やテーマパーク商品が低調であったため前年比 84.4%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）は、北海道の花の名所を巡るコースやハイキング、高級ホテル宿泊コースなどが好調に推移し、前年比 114.1%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 101.9%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、親睦旅行や職場旅行など取扱件数は増加しているが、アジア方面への旅行が増え、取扱額が減少したため、前年比 88.9%となった。

学生団体は取扱件数が減少しているものの、取扱人数が増加したため、前年比 108.1%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 97.7%となった。

海外企画旅行については、前年比 235.2%となった。海外自社企画（フリー型商品）ではテーマパークのセット型商品が引き続き好調に推移し、前年比 122.7%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、日本発着のクルーズや登山ツアー、ヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比 240.6%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 147.4%となった。

3. 訪日旅行

個人旅行では訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が引き続き堅調であったものの、団体旅行の取扱が減少し、前年比 73.5%となった。

以上